

地域子育てネットワークだより

平成29年10月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部男女家庭課 電話：(078)341-7711 内線 2875

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

<http://web.pef.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html>

「ひょうご家庭応援県民大会」を開催します！

入場無料

と き：平成29年11月11日（土）
13:00～15:15
と ころ：兵庫県公館 大会議室



【主な内容】

- 第10回「家族の日」写真コンクール表彰式
- 事例発表
- 講演 シンガーソングライター・防災士
石田 裕之 氏

兵庫県では、家族・家庭の大切さを考え、きずなを深めるとともに、地域で家庭を支える取組を進めるため、「ひょうご家庭応援県民大会」を開催しています。

今年度は、シンガーソングライターで防災士でもある石田裕之氏に「歌で気づく、歌って築く、家族のきずな」をテーマにご講演いただきます。

心がなごむ「家族」の写真も展示して、みなさんのお越しをお待ちしています。

兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課
電 話：(078)362-3385 FAX：(078)362-3891
Eメール： danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

入場
無料

子育て支援の情報交換イベント！

子育て支援メッセ

ベビーカーOK！
授乳室もあり！

平成29年11月23日（祝）11:00～15:00

子育て支援に関わるグループや NPO 法人、企業、行政などが一堂に集結！

結婚・出産から子育てに関する支援情報や北播磨5市1町の魅力を発信する催し物など、

盛りだくさんのイベントとなっておりますので、ぜひご参加ください！

会場：うるおい交流館エクラ

小野市中島町72（駐車場無料）
神姫バスで…イオン小野前下車 東へ徒歩5分
神戸電鉄で…小野駅下車 北東へ徒歩20分
車で…山陽自動車道「三木小野IC」より約10分

子育てに役立つ
情報・体験コーナーが
いっぱいあるよ♪



《お問合せ先》

ひょうご子育てコミュニティ ころぼかほか子育て支援メッセ in 北播磨実行委員会事務局

E-mail: [window@ksks-arche.jp](mailto>window@ksks-arche.jp) (NPO 法人北播磨市民活動支援センター)

応援ネットの 活動紹介

声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します。

まちの子育て ひろばの紹介

子育て中の親と子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合う拠点「まちの子育てひろば」を、まちの子育てひろばコーディネーターが取材します。

尼崎市子育てサークル実行委員会は、現在、市内25サークルで構成されています。就園前の子どもを持つ保護者が集まって育児に関する情報交換、保護者や子ども同士の交流を図りながら、子どもの健全な発達及び地域における育児支援を図るため、自主的に子ども見守り等の活動を行っています。

市内を5つの地域に分け、各地域でテーマを決めた交流イベント、全サークルが集う全体イベント、リーダー育成研修等を通じて、地域での子育て支援を行っています。

これからも、こうした活動を通じて、地域での問題や悩みをみんなで話し合い、サークル同士や地域の交流を大切にしながら、地域の親子が気軽に集える場であり続けたいと思います。

尼崎市子育てサークル実行委員会
会長 堀川 佳代子



子育て中の親子が気軽に立ち寄りのんびりと過ごせる地域の居場所を作ろうと、商店街の一角にある築80年の古い空き家を再利用したコミュニティスペース「古民家 tunagu」をオープンし、絵本の読み聞かせや工作、季節の遊びなどの親子で楽しめる会の他、お母さんのリフレッシュ講座、世代交流会を開催しています。

取材当日は、ママの筆ペン教室に8組の親子が参加。お中元の熨斗やお礼状を繰り返し練習していました。お母さんは日常から離れ、筆先に集中。子ども達はちゃぶ台を囲んで運営スタッフと一緒におもちゃ遊びを楽しんでいました。

今後は、県の「子育てほっとステーション」として、おむつ交換台や授乳室を設置する予定で、夏休み宿題教室、子ども食堂等、大学や地域ボランティアと連携し活動の幅を拡げていきます。

【取材：西播磨県民局まちの子育てひろば

コーディネーター 桑野】

【ひろば名】コミュニティスペース「古民家 tunagu」

【開設場所】赤穂市加里屋 2164-52 古民家 tunagu

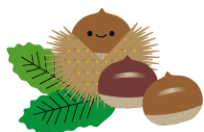
【開設日時】毎週火曜、第2土曜 10時～12時

(その他イベント開催により異なる)

【問合せ先】西播磨県民局 龍野健康福祉事務所

企画課

TEL 0791-63-5150



食欲の秋、味覚の秋

阪神北広域救急医療財団理事長・
県立こども病院名誉院長 中村 肇

連載
第130回

暑かった夏も終わり、朝夕は涼しく、過ごしやすい秋の訪れです。夏の暑さで食欲が落ちていた子どもたちにも、食欲が戻ってきます。夏の疲れを取るには、栄養が豊富な食材をバランス良く摂ることで。

日本の秋には、さつまいも、かぼちゃ、さんま、栗、柿、梨、ぶどう、りんごなどの旬の野菜・魚・果物が店頭を飾っています。日本の食文化は、自然の味を大切にした料理にあります。「秋の味覚」こそが、子どもたちに自然の味に親しませる格好の機会です。

人が感じる味には、甘味、うま味、塩味、酸味、苦味の5種類がありますが、子どもは生まれたときから、苦味（毒物の味）、酸味（腐敗の味）のあるものを口にすると、自己防衛上反射的に嫌な顔をします。大人の味覚と子どもの味覚には違いのあることを承知しておいてください。

でも、周りの大人が美味しそうに食べていると、子どもは安心して口にできるようになります。